

協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

道徳性・ 規範意識 の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

社会生 活との 関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、就学前施設内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

思考力 の芽生 え

身近な事象に積極的に関わる中で「物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

自然との 関わり・ 生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

数量や図形 標識や文字 などへの関 心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

言葉に よる伝 え合い

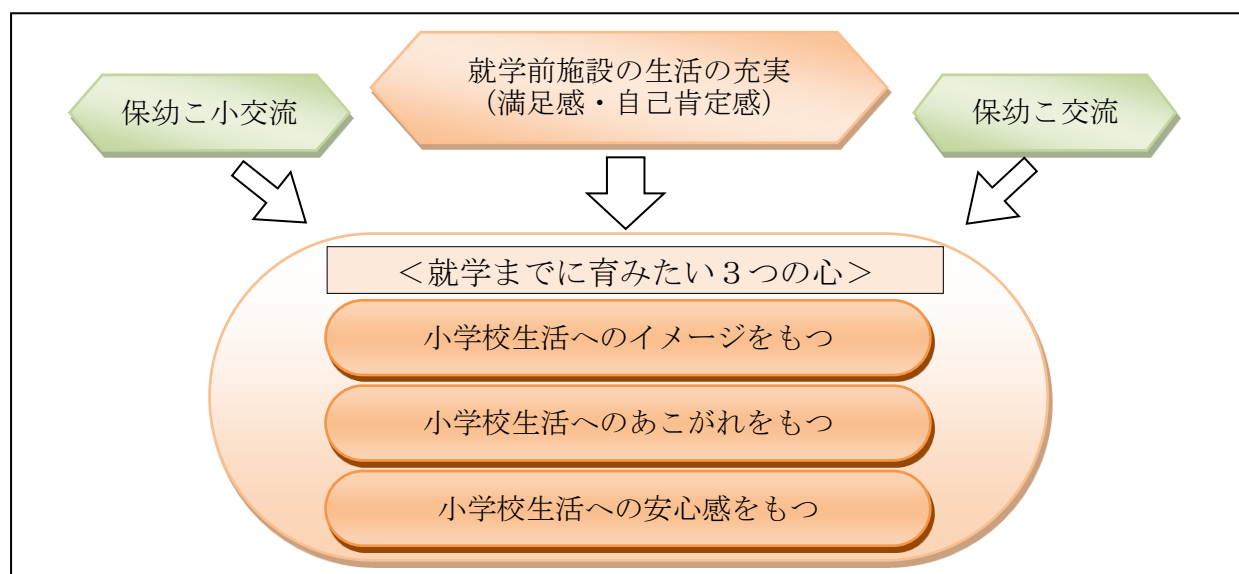
先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

豊かな 感性と 表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

「育みたい資質・能力」（3つの柱）は、これまでも5領域の実践や、「知・徳・体」を育む過程で、保育者・指導者が何よりも大切にしてきた教育・保育そのものです。

小学校教育へ円滑な接続を図るためには、上記の「育みたい資質・能力」（3つの柱）の重要性を認識し、日々の教育・保育の実践の中で一体的に育み、就学前施設で子どもたちが充実した生活を送れるようにすることが必要です。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）を通して就学前施設と小学校の指導者・保育者が子どもたちの育ちを共有し、それぞれの校園所の教育・保育を充実させることが大切です。そして、就学前施設と小学校の生活や遊び、学びが充実することで、子どもたちの満足感や自己肯定感が高まります。とりわけ、就学前の子どもたちにとっては、この満足感や自己肯定感の高まりの中で、小学校との交流活動を行うことにより、「小学校生活へのイメージ」や「あこがれ」をもつことができ、「小学校生活への安心感」も高まります。これらの心情、意欲、態度を育むことが、小学校教育への円滑な接続につながっていくと考えています。



～ 就学までに育ってほしい姿（めざす子ども像）～

就学前教育を通して育てたい子どもの姿として、大阪市の子どもの実態や就学前教育カリキュラムの観点から次のように考えています。各観点（言語、人と関わる力等下記の  ）は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）からも見ていき、小学校の接続に生かしていきたいと考えています。就学までに育ってほしい姿を主に次のような観点で整理しました。

知

の視点から

言語（聞く・話す・コミュニケーション・文字等）

- 身近な人との関わりの中で日常生活に必要な挨拶が分かり、挨拶を交わす心地よさや大切さを知り、進んで挨拶をする。
(社会生活との関わり)
- 絵本や物語、言葉遊び等を通して、言葉や文字への関心を広げる。
(言葉による伝え合い)
- 生活の中で文字や数字に関心をもち、必要に応じて具体的な物と対応させる。
(数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)
- 自分の思いや考えを相手に分かるように話したり、相手の話の内容を聞いて理解したりして、言葉を通して指導者や友達と心を通わせる。
(言葉による伝え合い)

思考（数量・図形・空間認識・自然科学等）

- ・ 身の回りの物の特性に気付き、繰り返し遊びに生かしたり、取り入れたりして工夫する。
(思考力の芽生え)
- ・ 様々な活動を通して、数量、長さ、広さ、重さや速さ、色、図形の特徴、時刻・時間等に関心を持ち、必要感をもって数えたり、比べたり、組み合わせたりする。
(数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)
- ・ 水や氷、日なたや日陰等、季節によって自然が変化することに気付いたり、季節によって生活が変化したりすることを知る。
(思考力の芽生え)
- ・ 草花や木の実等の自然の素材や、雨、風、氷などの自然現象を活動の中に取り入れたり、自然の不思議さをいろいろな方法で確かめたりする。
(思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重)

創造（造形・音楽・身体表現等）

- ・ 生活や遊びを通して感じたことや考えたこと等を、音や動き等で表現したり、自由にかいたり、つくったり、演じたりすることで、豊かな感性を育む。
(豊かな感性と表現)
- ・ 絵本や物語等に親しみ、イメージを豊かにし、想像の世界を友達と共有する。
(豊かな感性と表現)
- ・ 友達同士で互いに表現し合うことで、様々な表現の面白さに気付いたり、友達と一緒に表現する過程を楽しんだりする。
(豊かな感性と表現)

徳

の視点から

人と関わる力（自立心・思いやりの心・協同性・道德心等）

- ・ 物事を最後まで行う体験を重ね、自分の力でやろうとする気持ちをもったり、やり遂げた満足感をもったりする。
(自立心)
- ・ 身近な人々に、自分から親しみの気持ちをもって接したり、身近な人々との触れ合いの中で、自分が役に立つ喜びを感じたり自信をもったりする。
(社会生活との関わり)
- ・ 四季折々の地域の伝統的な行事に関わり、自分たちが住む地域に親しみを感ずる。
(社会生活との関わり)
- ・ クラスの仲間との関わりを通して互いのよさを分かり合い、共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして、一緒に遊びを進めていく。
(協同性)
- ・ 友達と積極的に関わり、相手の気持ちを考えて自分の思いの出し方を考えたり、我慢したり、折り合いを付けたりしながら、分かり合う。
(協同性)

規範意識（社会生活のルールを守る心等）

- ・ 生活や遊びのルールを友達と確認し合い、すすんで守ったり、自分たちで解決しようとしたりする。
(道德性・規範意識の芽生え)
- ・ してよいことと悪いこととの区別ができ、相手の立場に立って考えられるようになる。
(道德性・規範意識の芽生え)

生命の尊重（命の大切さを感じる心等）

- ・ 身近な動植物の飼育栽培を通して、生きているものへの愛着を感じ、生命の営みの不思議さ、生命の尊さに気づき、感動したり、いたわったり、大切にしたりする。
(自然との関わり・生命尊重)
- ・ 一人ひとりが大切な存在であることを知り、生命の尊さに気付く。
(自然との関わり・生命尊重)

体

の視点から

運 動

- ・ いろいろな運動遊びに挑戦し、自分なりの目標をもって取り組む。
(健康な心と体)
- ・ 様々な活動に親しみ、進んで体を動かす。
(健康な心と体)

基本的な生活習慣

- ・ 健康な生活に必要な習慣や態度を身に付け、その必要性が分かり、進んでする。
(健康な心と体)

健康・安全

- ・ 健康な生活リズムや習慣を通して、自分の健康に対する関心を持ち、自分の体を大切にする気持ちをもつ。
(健康な心と体)
- ・ 危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。
(健康な心と体)

食 育

- ・ 栽培物の世話や収穫等を通して、食べ物や栄養について関心をもつ。
(健康な心と体、自然との関わり・生命尊重)
- ・ 正しい食事の仕方を身に付け、指導者や友達と一緒に楽しく食べる。
(健康な心と体)

2 小学校生活へのつながり

社会状況の変化等による幼児の生活体験の不足等から、基本的な技能等が身に付いていなかったり、就学前教育と小学校教育との接続では、子どもや指導者の交流は進んできているものの、カリキュラムの接続が十分であるとはいえない状況もあるなどの課題も見られます。近年、国際的にも忍耐力や自己制御、自尊心といった社会情動的スキルやいわゆる非認知的能力といったものを幼児期に身に付けることが、大人になってからの生活に大きな差を生じさせるという研究成果をはじめ、幼児期における語彙数、多様な運動経験等がその後の学力、運動能力に大きな影響を与えるという調査結果等から、幼児教育の重要性への認識が高まっています。

大阪市では、義務教育以降の学力の向上及び人格の形成に繋げるため、幼児期における取組を強化し、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための力をつけるための基礎を培います。小学校教育の内容を先取りする早期教育や抽象的な概念だけを使って知識の詰め込みに終始するのではなく、具体的な事物や実体験と言語及び数を含む概念との関連性をもたせた学習活動を展開することが肝要であると考えます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、平成32年度より実施となる小学校学習指導要領にも示されています。これは、5歳児後半の評価の手立てともなるものであり、就学前施設と小学校の指導者がもつ5歳児修了時の姿が共有化されることにより、就学前教育と小学校教育との接続の一層の強化が図られることが期待できます。

本項では、小学校低学年の児童に視点を当て、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が小学校生活や学習の中でどのようにつながっているのかを具体的に例をあげて示しています。

健康な 心と体

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

就学前施設での生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿（例）

- ・ 時間割や生活の流れの見通しをもって学校生活を送る。
- ・ 遊びの後の手洗いやうがい、ハンカチの活用、給食着や体操服の着脱等、身の回りのことを自分で行う。
- ・ 給食に出てくる食材に関心を持ち、感謝の気持ちをもって食べる。
- ・ 避難訓練や緊急時の対応等、落ち着いて取り組む。
- ・ 体育の時間に進んで体を動かしたり、休み時間に友達と一緒に運動場で遊んだり、家庭生活においても体を動かしたりして遊ぶ。

※エピソード（具体的な場面）

教室の壁に貼っている時間割を見ながら、「今日は1時間目が国語で、2時間目が算数。3・4時間目は図工や。早く絵の続きをかきたいなあ。楽しみや」とつぶやいている。

自立心

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿（例）

- ・学習前の休み時間に、時間割を見て必要な教科書やノートを自分で準備する。
- ・学習中進んで手を挙げて発言したり、分からないときは、先生や友達に聞いたりして課題に取り組む。
- ・日直や係活動では意欲的に活動し、役割分担以外にも目を向けて、自分から進んで行う。

※エピソード（具体的な場面）

休み時間、雑然と置かれている学級文庫に目が留まり、黙々と整理を始める児童がいた。本の向きを並べ直している。並べ直すと、「あー、きれいになった。これで見やすくなったわ」と満足気に言っている。

協働性

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿（例）

- ・「お楽しみ会」等の学級活動が楽しくなるように友達と意欲的に話し合い、活動内容を決める。
- ・係活動や給食当番の仕事の大切さを理解して、みんなで協力して行う。
- ・学級活動や学習の場で、班活動（小集団活動）として話し合いを行い、課題に取り組む。
- ・よりよい学級にするために様々な意見を出し合い、学級目標や学級のルールを決めて生活する。
- ・学習発表会では、これまで学んできたことを振り返り、自分たちの成長を実感し、その姿を保護者に見てもらうために、友達と協力して工夫して発表する。

※エピソード（具体的な場面）

「お楽しみ会」を控え、みんなが楽しめる会にするにはどうすればよいのか話し合っている。「歌を歌ったら楽しそう」「クイズはどう？問題考えるのっておもしろい」「看板もいるなあ」と、考えたことを出し合っている。クラスの出し物が決まると、早速班に分かれて、必要なことをノートに書いたり、看板や飾りなどを作ったりし始める。

道徳性・
規範意識
の芽生え

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながらきまりをつくったり、守ったりするようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿（例）

- ・友達との関わりの中で、異なる思いを認め合い相手の気持ちを考えて仲良く遊ぶ。
- ・困っている友達がいたら進んで声をかけ、優しく接して助ける。
- ・遊びの中でもめ事が起きた時に、自分の思いを伝え合って解決する。
- ・学校や学級のルールを守って生活する。
- ・ルールを守りながら友達と楽しく遊ぶ。

※エピソード（具体的な場面）

ドッジボールをしていてボールの取り合いが起こった。もめてゲームが進まないのを見かねたA児が、二人に対して「どうする？」「例えば、〇〇さんはたくさんボールに触ってるから譲ってあげるとかは？」と解決の方法を提案し、楽しく遊べるようにしている。

社会生活
との関わり

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、就学前施設内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿（例）

- ・地域清掃や昔遊びなど、ゲストティーチャーとして来られた地域の方と関わる中で、感謝の気持ちをもつ。
- ・地域の行事や様々な文化に触れることを楽しみ、興味や関心を深め地域への親しみをもつ。
- ・登下校時に地域の方と出会い、お互いに挨拶を交わす。
- ・地域めぐりや町探検等の校外学習では、公共の場での行動の仕方を知り施設を利用する。
- ・縦割り班（1年生から6年生までで構成されている班）による児童会活動では、異学年での交流を楽しみお互いに関わろうとする。

※エピソード（具体的な場面）

登校時、「おはようございます」「おはよう。今日も早いね、気を付けて行ってらっしゃい」「行ってきます」と地域の方と笑顔で挨拶をしたり、言葉を交わしたりしている。

思考力の 芽生え

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿（例）

- ・新しく習う学習の場面では、幼児期に経験してきたこと等を基にして、自分なりに道筋を立てて考える。
- ・学習活動で分からないことや問題が起きたときは、諦めずに自分で考えたり調べたり、友達や先生に聞いたりし、それを試して、さらに工夫するなど先生や友達と考えながら課題を解決している。
- ・集団遊びの場面で、どのようにすればみんなが楽しめる活動になるかを考えて、ルールを考えたり、工夫したりする。



※エピソード（具体的な場面）

輪ゴムと厚紙を使って、飛び跳ねるおもちゃ作りをしている。なかなか思うように跳ばず、何度か試しては首を傾げている。しばらくすると、「そうや、輪ゴムを増やしてみよう！」と試したり、「紙を二重にしてみようか」と考えたり、試行錯誤をしている。

自然との 関わり・ 生命尊重

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉等で表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもちながら関わるようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿（例）

- ・学級等で飼っている生き物の世話や、草花の水やりを通して成長に関心をもち、動植物への愛着をもつとともに大切に育てる気持ちをもつ。
- ・校庭にいる虫を捕まえたり草花を見つけたりしては、その特徴や生態に興味や関心をもつ。
- ・天気や気候の変化、四季の移り変わり等いろいろな自然事象に出会い、不思議さや驚き、畏敬の気持ちをもつ。



※エピソード（具体的な場面）

校内の池の蓮の花が何輪も美しく咲いている様子を見た1年生児童が「カエルのおうちに咲いている花、きれいで」と職員室の先生に伝えに来た。「カエルのおうちって素敵だね」と先生が言うと、「すみれ組のときに絵本で見たの」と答える。

数量や図形、
標識や文字
などへの関心・
感覚

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づき、これらを活用し興味や関心、感覚をもつようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿（例）

- ・かさくらべの学習で、同じ基準を決めて比べることについて、これまで経験した生活場면을思い浮かべたり、体験を伴いながら学習を進めたりすることで、実感を伴った理解につながる。
- ・色板を使った形づくりの学習では、色板を動かすことでいろいろな模様ができる楽しさを味わいながら、色板の置き方で模様が変わることに気付いていく。
- ・安全な生活を送るために身の回りの様々な標識や文字が示す意味の必要感をもち、校内外にある案内板や掲示物、信号等の意味を進んで知ろうとする。



※エピソード（具体的な場面）

給食の配膳時「今日のおかずはうまく配膳できたよ」「おたまに丁度一杯入れたら、ぴったりだった！」とクラスの数と給食の量を考えて配分しようとする。

言葉による
伝え合い

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたこと等を言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿（例）

- ・学習中、自分の考えや思いを伝えたり、友達の考えや意見を聞いたりして学び合おうとする。
- ・図書館ボランティアによる読み聞かせのときに、静かに聞いてお話の内容を想像する。
- ・学習発表会で、学習してきたことを相手に伝えるように工夫して発表する。



※エピソード（具体的な場面）

朝、教室で担任を見つけると「先生、昨日〇〇公園行ってん」と嬉しそうに話し出す。「〇〇公園ってどんな公園なの」「長い滑り台とか格好いいブランコがあるねん」「へえ、滑り台ってどの位長いの」「えっと、1組と2組の廊下を合わせた位かな」「長いなー」会話を聞いていた児童も加わり、「〇〇公園って、僕もよく行くよ」「その公園、先生も行ってみたいなあ」「先生、行ったらめっちゃくちゃ楽しいで」等、会話が弾む。

豊かな 感性と表現

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

□小学校生活で見られるようになる姿(例)

- ・ 楽しんで歌を歌ったり合奏したりして、自分の思いを表現することを楽しむ。
- ・ 絵をかいたり粘土でつくることを楽しんだり、自分の感じたことを表し、想像したりして豊かに表現する。
- ・ 音読活動では、登場人物の気持ちを考えて、自分なりに表現する。
- ・ 「一年生を迎える会」では、学校生活のことが相手に分かるように、絵や言葉などを工夫して説明する。
- ・ 表現運動の発表では、楽しみながらリズムに乗って元気いっぱい表現する。



※エピソード（具体的な場面）

学級で飼っているザリガニを観察して、「ハサミ大きいなあ。強そうやなあ」と感動し、その思いを画用紙いっぱいにかいている。



3 保幼小交流活動について

(1) 幼稚園での取組(例)

近隣の保育所と交流を通して、お互いに親しみをもち、一緒に小学生になる喜びや期待がもてるように、取り組んでいます。また、小学校の授業を見学したり、1年生と交流をしたりすることで、小学校生活に期待がもてるように願っています。

活 動		ねらい		育まれた力
5月	A幼稚園で初顔合わせ 互いの園所の名前を知り 一緒に歌ったり、遊んだり する	保育園所 幼稚園	- 地域の5歳児の友達と触れ合って遊ぶことを楽しみ親しみをもつ - 一緒に交流することや活動内容に期待をもつ	- 挨拶の大切さに気付き自らしようとしていた。 - 他園所の友達や先生に関心をもち関わっていた。
6月	B保育所で遊ぶ 室内外で季節の遊びや体を動かす遊びを楽しむ	保育園所 幼稚園	- いろいろな友達と触れ合って遊ぶことを楽しみ、親しみをもつ - 今後の交流や活動に期待をもつ	みんなで遊ぶ楽しさを味わい、他園所の友達に親しみをもって話すようになった。
7月	 C保育所で、どろんこ遊びをする	保育園所 幼稚園	- どろんこ遊びを通して保育所や幼稚園の友達と一緒に遊ぶことを楽しむ 水、砂、土、泥の感触を楽しみながら工夫して遊ぶ	できたものを互いに見せ合ったり、一緒に作ったりすることを楽しみながら、作り方や工夫したところを伝えようとしていた。
7月	D保育園主催の、音楽鑑賞会に参加する	保育園所 幼稚園	鑑賞会に参加し、美しい音楽や楽器の音色に触れる	楽器のきれいな音色や音楽を聞いたことで、感じたことを言葉で伝え合い、共有するようになった。
10月	鶴見緑地公園園外保育に行き、自然散策やミニ運動会をする 	保育園所 幼稚園	- 保育所、幼稚園の友達と触れ合い一緒に活動を楽しむ - 保育所、幼稚園の友達がお互いに親しみをもって関わり、関係を広げる	公園の広い場所で、一緒に体を動かして遊んだことで、互いの名前を教え合ったり、小学校はどこへ行くのかを伝え合ったりするようになった。
12月・2月	幼保ドッジボール大会 	保育園所 幼稚園	- ドッジボールの活動を通して、保育園所、幼稚園の友達と一緒に、体を動かしたり交流したりする - ルールや約束を守って遊ぶ - 共通の目標に向かって、集団での活動を楽しみ、達成感を味わう	勝ち負けだけではなく、互いに頑張っていることを認め合うことを大切にする言葉が聞かれた。
1月	小学校の広い運動場で幼児と小学生でペアになり、たこあげをする	保育園所 E小学校 幼稚園 F小学校	- 小学生とペアを組み、楽しく過ごす - たこあげを通して、小学生の優しさに触れ、安心して活動する	- 小学生に親しみをもち、安心して過ごしていた。 - 小学生に教えてもらいながら安全な遊び方に気付いていた。
1・2月	1年生と「どんぐりおもちゃまつり」で遊んだり、歌を聞かせてもらったり、ランドセルを背負わせてもらったりする 	保育園所 幼稚園 E小学校	- 校内の様子に関心をもち、園所との違いに気付く 1年生に遊び方を教えてもらい、自分たちも挑戦する	- 小学校の先生や1年生に進んで挨拶をしていた。 1年生に遊びに誘ってもらい、楽しく遊べたことで、進学への期待が高まった。
	校内の見学をしたり、1年生の授業参観をしたりする。個々にランドセルを背負わせてもらったり、教科書や道具箱を見せてもらったりする	保育園所 幼稚園 F小学校	- 授業や教室、校内の様子に関心をもち - 授業と休み時間をチャイムで知らせていること等、小学校生活の流れを知る	1年生が先生の話真剣に聞いたり、意欲的に授業を受けている様子を見たりして、1年生への憧れや小学校生活への期待をもっていた。

(2) 小学校と併設している幼稚園の取組（例）

小学生と触れ合ったり、授業に参加したりし、小学生や先生の優しさを感じたり、小学校の生活に期待がもてるように願っています。お互いに活動にねらいをもって、それぞれの力が発揮できるように取り組んでいます。

活 動	ねらい		育った力
 サツマイモ苗植え（5月） （4・5歳児と2年生）	幼稚園	苗と一緒に植えることを通して植え方や育て方を教えてもらい、栽培活動に興味や関心をもつ	サツマイモの苗を2年生が植える様子を見学したり、一緒に植えたりしたことで、植え方や育て方がよく分かり、自分たちで育てていくことに意欲をもち、苗の生長を楽しみにするようになった
	小学校	一緒に植える活動を通して、植物を植える意欲を高めるとともに、年少者に優しく接することができる	サツマイモの苗の植え方や育て方を年少者に分かりやすく伝えるにはどうしたらよいか、調べたり考えたりして、自分なりに工夫して伝えていた
 絵本読み聞かせ（6月） （全幼児と5年生）	幼稚園	5年生に、絵本や紙芝居を読んでもらい、小学生の優しさに触れ、親しみや憧れの気持ちをもつ - いろいろな絵本や紙芝居を読んでもらい、絵や文字に興味をもったり、お話のイメージを膨らませたりする	- 少人数のグループで関わることで、緊張がほぐれ、読み聞かせをしてくれた5年生に親しみや感謝の気持ちをもち、自分からお礼の気持ちを言葉で伝えていた - いろいろな絵本や紙芝居に興味や関心をもち、楽しみながらお話の世界に触れることができた
	小学校	- 幼児に対する優しさや思いやりの気持ちをもつ - 幼児が楽しめるように、絵本や紙芝居の読み方を工夫する	幼児に興味をもちそうな絵本や紙芝居を選んだり、ゆっくり読んだりして、相手の立場に立って物事を考え、優しい気持ちをもつことができた
 プール活動（7月） （5歳児と1年生）	幼稚園	- 広い小学校のプールで、1年生と一緒に楽しく遊ぶ。 1年生と楽しく関わる中で、親しみをもつ	- 小学校の広いプールでのびのびと活動することができ、学校の施設に関心を高め、小学校生活に期待をもつことができた - 初めての広いプールで、1年生が優しく関わってくれたことで、不安な気持ちの子どもも安心して活動することができた
	小学校	- 楽しく水遊びをする - 幼児と楽しく活動する中で、思いやりや助け合いの心を育てる	緊張したり戸惑ったりする幼児に優しく接し、手をつないだり、幼児の様子を見て、せかさず待ったりし、相手のペースに合わせながら行動することができた
 運動会（9月） （3・4歳児と4年生）	幼稚園	- 自分たちの好きなことを演技や競技に取り入れ、喜んで活動する 4年生の優しさを実感し、顔や名前を覚え、親しみや憧れの気持ちを深める	- 運動会に必要な物の製作のときから当日まで同じペアで関わったことで、関わりを深め一緒に達成感を味わうことができた - 小学生が誘導したり教えてくれたりしたことで、安心して活動に参加し、より憧れの気持ちをもった
	小学校	- 幼児に優しく接して、仲良く一緒に活動することができる - 世話をしたり、教えたりすることで、思いやりの心を育てる	事前の活動から当日までいろいろな取組を行うことを通して、責任感をもったり自分が役に立っている喜びを感じたりした
 「にこにこまつり」（12月） （全幼児と全学年）	幼稚園	遊びを楽しむとともに、いろいろな学年の児童の優しさに触れ、安心感をもつ	- 全学年の小学生と接することができ、人と関わる楽しさを味わった - 小学生が遊びのルールを考え伝えてくれたことで、自分からルールを守って遊び、規範意識の芽生えにつながった
	小学校	意欲的に活動に取り組むとともに、思いやりをもち、幼児に関わる	自分たちが準備した活動に幼児が楽しく参加することで、年長者としての自覚が高まり、自信につながった

(2) 交流計画案

(小学校授業見学)

日 時	平成 年 月 日 () : ~ : 雨天決行	係	
目 標	○幼稚園、保育所の友達と一緒に活動し、遊びの充実や子ども同士の関わりを広げる ○幼稚園、保育所の職員が相互の教育、保育所の養護の内容を学ぶ ○幼稚園、保育所と小学校との連携を図る		
ねらい	○授業見学を通して幼稚園や保育所と小学校との違いに気付き、進学への期待を高める ・授業や教室、校内の様子に関心をもつ ・幼稚園と保育所の子どもと一緒に見学をする中で、友達と一緒に学ぶことを楽しみにする ・授業と休み時間、チャイムで時間を知らせていることなど、小学校生活の流れを知る		
参加者	◇◇小学校1年生 1組 先生 2組 先生 3組 先生 4組 先生 △△保育所 名(付添い 名) ○○保育所 名(付添い 名) □□保育所 名(付添い 名) ◎◎幼稚園 名(付添い 名)		
持ち物	笛、葉、着替え、カメラ、上靴、その他 雨天時：レインコート、レインコートかけ、レジ袋、傘、大きなビニール袋等		
育みたい力	・進学への期待や憧れ 知 …言語、思考、創造 ・小学校生活への安心感や意欲 徳 …人と関わる力、規範意識、生命の尊重 ・1年生への親近感 体 …運動、基本的な生活習慣、健康・安全 食育		
時 刻	予想される幼児の活動	幼児への働きかけ	
	○小学校に集合する ・小学校の先生と挨拶をする 校長先生または教頭先生 ・授業見学時の約束を確認する ・入室前に廊下で上靴に履き替え、下靴は廊下に揃えて並べておく ○2時限目の授業を見学する ・クラスに分かれて見学する 【1組 】 【2組 】 △△保育所 ⇄ ◎◎幼稚園 【3組 】 【4組 】 ○○保育所 ⇄ □□保育所 ・授業終了後、お礼を言う ○教室を見学する ・ロッカーや道具箱を見る ・教室にいる一年生に質問する ・退室する ○校内を見学する ・教頭先生に誘導していただき、並んでついていく ○小学校の先生にお礼を言う ○解散する	・園所単位で集まり、静かに待機しておく ・小学校の先生に気持ちよく挨拶ができるよう言葉をかける 徳 体 ・見学時や移動の際の約束を確認する。(事前に各園・所で子どもと話し合い、確認をしておく) ★前半： ~ : / 後半： ~ : ・交代の時間を目途に隣の教室に移動し、その際、下靴はそのまま置いておく ・私語をせずに静かに参観するよう気付かせる 徳 ・授業終了後、各クラスで小学生にお礼を言う 徳 ・休み時間に教室を見学し、小学生ならではの持ち物や、物の始末・整理の仕方について気付けるよう言葉をかける 知 徳 ・室内に残っている小学生に質問をするなどして興味や関心が膨らむようにする 知 徳 ・チャイムを聞いて行動する小学生の姿を知らせ、時間の区切りなどを意識できるようにする 知 ・校舎や校庭などの広さを園・所と比べながら、違いに気付けるように言葉をかける 徳 ・進学へ期待が膨らむように話をし、解散する 知 徳	

その他	※付添い教職員数や各園所の子どもの不安を考慮し、今年度は各園所単位で見学を行う ※小学生の負担を考慮し、授業見学は2時限目のみとする。時間内に別教室へ交代する ※授業内容は交流ではなく、普段通りの授業を見せてもらうことを目的とする ※休み時間は校庭に全学年の児童が出て、教職員が園児・児童の安全を把握しきれない可能性が高いことから、教室内的見学をする ・打ち合わせ 月 日 () : ~ ◇◇小学校 北会議室 ・感染症が流行して授業見学に参加できない場合は◎◎幼稚園に連絡をお願いします ◇◇小学校【TEL】※※※※-※※※※ △△保育所【TEL】※※※※-※※※※ ○○保育所【TEL】※※※※-※※※※ □□保育所【TEL】※※※※-※※※※ ◎◎幼稚園【TEL】※※※※-※※※※
評価 反省	



(5年生と幼児の絵本の読み聞かせ)

主な活動	○5年生が幼稚園児に絵本や紙芝居を読む ○幼稚園児に歌や演奏を披露したり、一緒に体を動かしたりする			
ねらい	5年生のねらい ・幼稚園児に対する優しさや思いやりの気持ちをもつ ・幼稚園児が楽しめるように、絵本や紙芝居の読み方を工夫する			
時間	児童の活動	幼稚園児の活動	環境	指導者の働きかけ (5年生)
9:30	○講堂に集合する ・はじめの言葉を言う ・挨拶を交わす ・グループになる	○講堂に集合する ・挨拶を交わす ・グループになる		・幼稚園児を誘い、読み聞かせをする場所に移動して準備させる ・絵本や紙芝居に興味をもち、楽しんでもらうため、読み方や本のページのめくり方等、その場の状況に応じて工夫できるようにする
9:45	○絵本を読む ・5歳児担当は、幼稚園児と一緒に多目的室へ移動し、絵本等を読む ・3、4歳児担当は、講堂内で、広い場所を見つけ、絵本等を読む ・絵本等を交換して読む ・隣のグループと一緒に、読み手を交代して読む	○絵本や紙芝居を見る ・5歳児は、5年生と一緒に多目的室へ移動する ・3、4歳児は講堂内で、グループごとに集まる ・ペアグループの児童に、いろいろな絵本や紙芝居を読んでもらう ・ペアグループ以外の5年生に絵本などを読んでもらったり、話をしたりする	5年生 () は5年生の人数 3歳児2人×10 (20人) 4歳児3人×10 (20人) 5歳児5人× 5 (6人) 多目的室 	・聞いてもらったことにお礼を言ったり、幼稚園児から感想を聞いたりするよう促す
10:05	○幼稚園児と楽しい時間をもつ (講堂) ・歌を聞く ・歌を歌う 「ドレミの歌」 ・リコーダーを吹く。 「勇気りんりん」・幼稚園児と一緒に体操をする ○振り返りをする	○5年生と一緒に遊ぶ (講堂) ・歌を歌う 「あまだれぼたん (3・4歳児)」 「ドレミの歌 (5歳児)」 ・5年生の歌、演奏を聞く ・5年生と一緒に体操をする。「パパパ」 ○感想を話す	講堂 	・歌やリコーダーの演奏を楽しめるようにする ・幼稚園児と一緒に楽しく触れ合うようにする ・思いやりの気持ちをもって、楽しくできたかを振り返り、幼稚園児を見送るようにする。
10:30	○おわりの言葉とお礼を言う	○お礼を言う		

○ 5 年生に絵本や紙芝居を読んでもらう ○ 5 年生の歌や演奏を聞いたり、一緒に体を動かしたりして遊ぶ		
幼稚園児のねらい ・ 5 年生に絵本や紙芝居を読んでもらい、小学生の優しさに触れ、親しみや憧れの気持ちをもつ ・ 絵本や紙芝居を読んでもらい、絵や文字に興味をもったり、お話のイメージを膨らませたりする		
指導者の働きかけ (3 歳児)	指導者の働きかけ (4 歳児)	指導者の働きかけ (5 歳児)
・ 5 年生に絵本、紙芝居を読んでもらうことに安心感をもち、楽しみにできるように、事前に知らせておく ・ 1 対 1 で 5 年生に関わってもらうことで、親しみをもって接することができるようにする。 ・ どんな話に興味や関心をもって見ることができるように言葉をかける ・ 感じたこと、気付いたことを受け止める ・ 読んでもらって嬉しい気持ちや絵本が面白かった気持ちを受け止め、共感する ・ 指導者と一緒にお礼の言葉を言えるようにする	・ 事前に 5 年生に絵本を読んでもらうことを話し、安心したり、期待をもったりして参加できるようにする ・ 自分から挨拶ができるように、挨拶をしている姿を認め、他児に知らせる ・ いろいろな絵本や紙芝居に興味をもち、5 年生の声に耳を傾けられるよう援助する ・ 5 年生に親しみをもつことができるように、5 年生の優しさを嬉しいと感じる気持ちに共感する ・ 感じたことや気付いたことに共感し、自分なりの言葉で 5 年生に伝えられるよう助言する	・ 図書室に事前に訪れたり、昨年のこと（絵本のこと・カレー音頭を一緒にしたこと）を思い出せるように話をしたりし、5 年生と一緒に活動することに期待をもつようにする ・ 5 年生に親しみをもち、指示や話に気持ちを向けて話を聞けるようにする ・ 絵本を読んでもらって感じたこと（もっと読んでほしい、嬉しかったなど）気付いたことなど自分なりに伝えようとする姿を認め、他児にも広めていく ・ 様々な絵本や紙芝居に親しみをもち、お話の世界に入って楽しめるよう、子どもの思いに共感し、指導者も共に楽しむ
・ 自分たちの好きな歌を聞いてもらい嬉しさを感じ、優しい声で歌えるよう言葉がけをする ・ 5 年生の歌声やリコーダーの音色に興味をもっている様子に共感する ・ 自分たちの好きな体操を 5 年生と一緒にすることを喜び、のびのびと体を動かせるよう声をかける ・ 楽しかった気持ちに共感し、また会いたいという気持ちをもてるようにする	・ 歌を聞いてもらえる嬉しさを感じ、のびのびと歌えるよう声をかける ・ 5 年生の歌やリコーダー演奏を聞かせてもらえる喜びに共感し、憧れの気持ちをもつことができるように声をかける ・ 自信をもって体操する姿を認め 5 年生と一緒に体を動かす嬉しさを感じられるよう声をかける ・ 楽しかった気持ちに共感し、お礼の気持ちをもって、言葉で伝えられるようにする	・ 歌を聞いてもらう嬉しさを感じ、5 年生に喜んでもらえるような歌声になるよう意識して歌えるようにする ・ 歌声やリコーダーの音色の美しさを感じたり、憧れをもったりする姿を受け止め、共感する ・ 5 年生と一緒に体を動かした楽しさを受け止め、共感し、より親しみの気持ちが高まるようにする ・ 今日の活動を振り返り、お礼の手紙を書きたいという意欲をもつようにする ・ 今後の 3 歳児との関わりに、思いをつなげていくようにする

(4) 幼稚園・保育所での取組（例）

ふれあい遊び（6月）

<活動> ○ゲームや、ふれあい遊びをする。

<ねらい>

幼稚園 ○小学校に対して期待をもつ。

小学校 ○幼児に対して優しく関わる。

<指導者の働きかけ>

- ・一緒に遊ぶ楽しさに共感し、小学生への親しみを感じられるようにする。
- ・指導者も一緒に遊びながら、ルールを守って遊ぶ楽しさや大切さを感じられるようにする。

<育みたい力>

- ・2年生への親しみや、小学校に対する安心感
- ・ルールを守る意識

みんなですると
たのしいなあ



どんどん ながく
なってきたよ！

プール活動（7月）

<活動> ○小学校のプールで5年生と一緒に遊ぶ。

○プールの中で小学生と触れ合って水遊びを楽しむ。

<ねらい>

保育所 { ○小学生と触れ合い、プール遊びを楽しむ。

幼稚園 ○プール交流を通して学校生活に興味をもつ。

小学校 ○幼児と楽しく活動する中で、思いやりや助け合いの心をもつ。

<指導者の働きかけ>

- ・水を怖がるなど配慮の必要な子どもに対する情報交換を事前に行い、当日の水深や活動する位置、ペアリングなどに留意し、幼児が安心して活動できるようにする。
- ・小学生の優しい関わり方やよい刺激を受けたことを、機会を捉えて子どもたちに伝え、小学生に憧れをもつことができるようにする。

<育みたい力>

- ・広いプールで活動したことによる自信やプール遊びへの意欲
- ・しっかり話を聞く力や、自分自身の安全について考えたり約束を守って行動したりする力
- ・小学生への信頼感

きもちいいなあ～
おおきいプール
たのしいわ！



小学生
手、つないでるから
大丈夫やで

て、つないで
もらっているから
だいじょうぶや！

運動会ごっこ（10月）

<活動> ○運動会で発表したダンスを見せ合う。

<ねらい>

幼稚園 ○5年生に見てもらうことで、満足感を味わう。

小学校 ○幼児に対して、思いやりをもって話す。

<指導者の働きかけ>

- ・自信をもって自分たちの演技をするように励ます。
- ・小学生の演技のすばらしさに共感し、小学生への憧れや小学校への期待を感じられるようにする。
- ・小学生と一緒に、どのようなところを頑張ったか話し合い、感じたことや思ったことを話せるように促す。

<育みたい力>

- ・小学校への憧れや親しみ
- ・自分たちの演技への自信

ぼくたちのおどり
みてください



おにいちちゃん、おねえちゃん
すごいなあ

学校ごっこ（11月）

<活動> ○小学校での学習の仕方を知る。

<ねらい>

幼稚園 ○教室での学習の雰囲気を知る。

○5年生との1対1での関わりを楽しむ。

小学校 ○どのような教え方がよいのかを、自分なりに考えて教える。

<指導者の働きかけ>

- ・小学校への期待をもたせるような言葉をかける。
- ・安心して活動できるように、教室の様子を丁寧に伝える。
- ・不安そうにしている子どもには、小学校の指導者と共に必要に応じて助言する。

<育みたい力>

- ・小学校での学習に対する期待感
- ・高学年の児童に対する憧れ



おにいちちゃんに
おしえてもらって
うまくかけた！



小学生
そうそう
上手に書けているよ！

ドキドキするなあ

作品展の案内（11月～12月）

<活動> ○幼稚園の作品展に小学生を招待し、自分たちの絵や作品を小学生に紹介する。

<ねらい>

幼稚園 ○自分たちの絵や作品について、自信をもって紹介する。

○相手に分かるように説明する。

小学校 ○幼児の絵や作品を見学し、工夫しているところや、精一杯やり遂げた嬉しさ等に気づき、認める。

<指導者の働きかけ>

・小学生に見てもらいたいことや聞いてもらいたいことを事前に話し合っておく。

・当日は、自分から進んで小学生に話しかけられるように励ます。

・事後には、小学生に見てもらったり認めてもらったりして嬉しかったこと等を話し合い、自信につながるようにする。

<育みたい力>・自分の絵や作品への自信

・相手に分かるように話す態度や気持ち



ベッドもあるし
あそぶところもある

小学生
2階建ての家
上手やなあ



小学生
年長さん、よく考えて
つくったね

みてみて！
ぼくがつくった
のはこれだよ

給食体験（3月）

<活動> ○1年生の給食の準備の様子を見たり、一緒に昼食を食べたり、歯みがきや後片付けをした
りする。

<ねらい>

幼稚園 ○小学校の給食の様子を知り、期待をもつ。

○幼稚園との違いや同じところに気付く。

小学校 ○自分たちの給食の様子を幼児に分かりやすく紹介する。

<指導者の働きかけ>

・当日までに給食について知っていることや1年生に聞いてみたいこと等を話し合い、一緒に昼食を食べることへの期待を高める。

・一緒に食べる嬉しさや楽しさに共感するとともに、当日の給食のメニューや1年生が食べる様子、準備や片付けの様子にも関心をもたせる。

・事後には、弁当と給食との違いや、食べてみたいメニューについて話し合い、給食への期待を高める。

<育みたい力>

・給食への期待や安心感

・給食準備や当番活動への意欲



小学生
こんなふうに
置いたらいいよ

小学生
お弁当の並べ方と
違うんだよ



小学生
小学校の給食は
おいしいよ

はやくきゅうしょく
たべたいな

小学校体験（2～3月）

<活動>

○小学校の生活体験をする。

（朝の会・終わりの会、国語・算数・体育・生活、給食用エプロン着脱体験等）

○地域の幼稚園・保育所の5歳児と一緒に小学校を訪れ、交流をする。

<ねらい>

幼稚園

○小学校生活の一部を体験し、小学校への期待をもつ。

保育所

○1年生と関わりながら、一緒に活動する楽しさや親しみをを感じる。

○小学校へ行く他の園所の子どもに親しみをもち。

○自分の思いを相手に分かるように伝えたり、相手の話をしっかり聞いたりする。

小学校

○1年生の学校生活の様子を、子どもに分かりやすく伝える。

<指導者の働きかけ>

- ・事前に体験内容を知らせて期待を高めたり、1年生に聞きたいことや教えて欲しいこと等を話し合ったりしておく。
- ・子ども同士が親しみをもてるような橋渡しをしていく。
- ・当日は、子どもの嬉しさや喜びを受け止めるとともに、必要に応じて1年生との橋渡しをする。
- ・事後には、楽しかったことや嬉しかったこと等を話し合い、入学への期待を高める。

<育みたい力>

- ・進学への期待や憧れ
- ・小学校生活への安心感や意欲
- ・1年生への親近感

小学生

ボタンかけ
手伝おうか？



エプロン
ぶかぶか



ほんをいれるの
ちょっと
むずかしいな